

高齢者が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

～ご協力をお願い～

市民の皆さまには、日頃から調布市の福祉行政の推進に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市は、「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」の福祉3計画を連携させて、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを進めています。

このアンケートは、暮らしやすいまちづくりを着実に進めることに市民の皆さまの意見をいかすため、65歳以上の中から1,000人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年●月 調布市長 長友貴樹

皆さまの回答は、誰もが暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。

調布市の福祉は市民が主役です。例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うことがとても大切になります。



回答者は、封筒のあて名ご本人です。

ただし、ご本人が回答することが難しい場合、ご家族や代理の人がご本人の意見を聞いて記入しても差し支えありません。

～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和7年●月●日(●)

【回答所要時間】 30分(目安)

【回答方法】 郵送 または インターネット



※あなたが回答しやすいどちらかの方法で、投函もしくは送信してください。

《郵送》調査票による回答の方法

- ①回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、()に具体的な内容を記入してください。
- ②質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ③回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》回答の方法

- ①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトアクセスしてください。
- ②調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③回答の途中で保存はできませんので、お時間に余裕のある時に回答してください。

<専用ウェブサイトURL>

https://*****

二次元コード

【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 高齢者支援室

電話 042-481-7149(課直通)

Fax 042-481-4288

E-mail kourei@city.chofu.lg.jp

1 あなた(ご本人)についておたずねします

問1 性別を教えてください。(1つに○)

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問2 年齢を教えてください。(1つに○) (令和7年●月1日現在)

1 65～69歳	3 75～79歳	5 85歳以上
2 70～74歳	4 80～84歳	

問3 お住まいの地域を教えてください。(1つに○)

番号に○	(参考)地域に属する地区(○は不要)
1	東つつじヶ丘1丁目, 2丁目 緑ヶ丘 仙川町 西つつじヶ丘1丁目, 2丁目, 3丁目 若葉町1丁目
2	東つつじヶ丘3丁目 菊野台 入間町 西つつじヶ丘4丁目 若葉町2丁目, 3丁目
3	佐須町1丁目, 2丁目, 4丁目, 5丁目 調布ヶ丘3丁目 柴崎 深大寺南町1丁目, 2丁目, 3丁目 深大寺東町3丁目, 4丁目
4	深大寺東町1丁目, 2丁目, 5丁目, 6丁目, 7丁目, 8丁目 深大寺北町 深大寺元町2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目 深大寺南町4丁目, 5丁目
5	国領町1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目, 8丁目 佐須町3丁目 布田2丁目, 3丁目 調布ヶ丘2丁目 八雲台
6	国領町6丁目, 7丁目 布田5丁目, 6丁目 多摩川6丁目, 7丁目 染地
7	多摩川1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目 調布ヶ丘1丁目, 4丁目 布田1丁目, 4丁目 深大寺元町1丁目 下石原1丁目 小島町
8	上石原 富士見町 西町 下石原2丁目, 3丁目 飛田給 野水

問4 市内での居住年数(市外への転居期間を除く通算年数)を教えてください。(1つに○)

1 1年未満	4 5年以上10年未満	7 30年以上
2 1年以上3年未満	5 10年以上20年未満	
3 3年以上5年未満	6 20年以上30年未満	

問5 住居形態を教えてください。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 自宅(持ち家)で生活している | 3 病院に入院している, 施設を利用している |
| 2 自宅(賃貸)で生活している | 4 上記以外 |

問6 同居している家族構成を教えてください。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 ひとり暮らし | 4 上記(1~3)以外で世帯全員が65歳以上 |
| 2 夫婦のみ(配偶者は65歳以上) | 5 上記(1~4)以外 |
| 3 夫婦のみ(配偶者は65歳未満) | |

問7 あなたは現在, 介護を受けていますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1 家族や親族から介護を受けている | |
| 2 介護保険制度を利用して介護を受けている | |
| 3 その他の人から介護を受けている(具体的に: _____) | |
| 4 介護を受けていない | |

2 日頃のコミュニケーションについておたずねします

問8 ご近所付き合いは, どの程度していますか。(主なもの1つに○)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 家を行き来するなど, 親しくしている | 3 あいさつをする程度 |
| 2 立ち話をする程度 | 4 ご近所付き合いをしていない |

問9 どのような時にご近所付き合いの必要性を感じますか。(それぞれ1つに○)

	とても 感じる	感じる	あまり 感じない	感じない	わからない
ア 緊急時や災害時の助け合いが必要なとき	1	2	3	4	5
イ 日常生活でちょっとした困りごとがあるとき	1	2	3	4	5
ウ 子どもたちの見守り・安全確保	1	2	3	4	5
エ 高齢者や一人暮らしの人への支援・見守り	1	2	3	4	5
オ 話し相手や相談相手が必要なとき	1	2	3	4	5

問10 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。(それぞれ1つに○) **新規**

	ない	ほとんどない	時々ある	常にある
ア 自分には人とのつきあいがないと 感じることもある	1	2	3	4
イ 自分は取り残されていると 感じることもある	1	2	3	4
ウ 自分は他の人たちから孤立して いると感じることがある	1	2	3	4
エ 自分は孤独であると感じることが ある	1	2	3	4

問11 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についてお尋ねします。

あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、お答えください。

(それぞれ1つに○) **新規**

同居していない相手との コミュニケーション方法	週4～5回以上	週2～3回程度	週1回程度	2週間に1回程度	月1回程度	月1回未満	全くない・できない
ア 直接会って話す(手話等を含む)	1	2	3	4	5	6	7
イ 電話(ビデオ通話含む)	1	2	3	4	5	6	7
ウ SNS※や電子メールなど	1	2	3	4	5	6	7

※ SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは、X(旧 Twitter), LINE, Facebook 等の登録された利用者同士が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス。



3 市民同士の支え合い、地域活動についておたずねします

問12 あなたは次の事柄について、家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。また、まわりの人に手助けできること(してもいいこと)はありますか。①手助けしてほしいか、②手助けできるかについて、それぞれ1つに○を付けてください。

	①手助けしてほしいか		②手助けできるか	
	してほしい	してほしくない	できる・してもいい	できない・しない
回答例	①	2	①	2
ア 安否確認の声かけ	1	2	1	2
イ ちょっとした買い物やごみ出し	1	2	1	2
ウ 食事や掃除・洗濯の手伝い	1	2	1	2
エ 通院の送迎や外出の手助け	1	2	1	2
オ 子どもの預かり	1	2	1	2
カ 話し相手や相談相手	1	2	1	2
キ 災害時避難の手助け	1	2	1	2
ク 具合がよくない時に病院などに連絡する	1	2	1	2

問13 この1年で、家族以外のまわりの人に、問12 ア～クのような手伝いや手助けをしましたか。また、手伝いや手助けをしてもらいましたか。(それぞれ1つに○)

①手伝いや手助けをしたか	1 した 2 しなかった(そういう場面はあった) 3 そういう場面がなかった
②手伝いや手助けをしてもらったか	1 してもらった 2 してもらわなかった(してほしいことはあった) 3 してほしいことがなかった

問14 家族以外のまわりの人に、問12 ア～クのような手伝いや手助けをする(してもらう)にあたり、どのような取組があるとよいと思いますか。(いくつでも○)

1 手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート(紹介)する仕組み 2 手助けしてほしい人や事柄を知ることでできる仕組み 3 手助けできる人の人柄やスキルを知ることでできる仕組み 4 その他(具体的に:) 5 取組は必要ない(できる時はする) 6 わからない
--

問15 あなたは地域での活動に参加したり、地域のために日頃から心掛けていることはありますか。①現在の状況、②今後の意向をお答えください。(それぞれ1つに○)

	①現在の状況				②今後の意向		
	(心掛けています) 週1回以上取り組んでいる	(心掛けています) 月1回以上取り組んでいる	(心掛けています) 年数回程度取り組んでいる	取り組んでいない(心掛けていない)	取り組みたい、興味がある	取り組みたくない、興味がない	わからない
回答例	①	2	3	4	①	2	3
ア 子育て世帯・青少年を支援する活動	1	2	3	4	1	2	3
イ 高齢者を支援する活動	1	2	3	4	1	2	3
ウ 障害のある人を支援する活動	1	2	3	4	1	2	3
エ お祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動	1	2	3	4	1	2	3
オ 交通安全や犯罪防止など、地域の安全を守る活動	1	2	3	4	1	2	3
カ 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	1	2	3	4	1	2	3
キ 道路等のごみ拾い、自宅周辺の清掃、環境美化、環境保全・自然保護などの活動	1	2	3	4	1	2	3
ク 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	1	2	3	4	1	2	3
ケ 趣味・習いごと・健康づくり(運動・スポーツ)などの活動	1	2	3	4	1	2	3

問16 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。(いくつでも○)

1 子どもの世話や介護を代わってもらう	7 参加することでメリットがある(報酬など)
2 活動や団体に関する情報を紹介してくれる	8 活動資金の補助や援助がある
3 友人・知人と一緒に参加できる	9 その他
4 時間や期間にあまりしばられない	(具体的に:)
5 身近なところに活動できる場がある	10 わからない
6 世話人やリーダーがいる	11 条件によらず、参加したくない

4 就労についておたずねします

問17 現在の職業を教えてください。(1 つに○)

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| 1 正規の社員・職員・役員 | } →付問へ |
| 2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣) | |
| 3 自由業・自営業(家業手伝いを含む) | |
| 4 シルバー人材センターの会員 | |
| 5 有償ボランティア | |
| 6 仕事はしていない | |

付問 問 17 で「1～3(会社などで働いている)」と答えた人におたずねします。

現在の職業に就いている経緯を教えてください。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------------------|---------------|
| 1 継続雇用 | 3 独立して開業 |
| 2 再就職(ハローワーク, 友人・知人, 民間(情報誌・登録など)) | 4 その他(具体的に:) |

問18 あなたが仕事をする(したいと思う)主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 生活費をまかなうため | 6 技術や経験をいかしたいから |
| 2 健康によいから | 7 地域に貢献したいから |
| 3 働くことに生きがいを感じるから | 8 その他(具体的に:) |
| 4 社会参画の手段として | 9 働くつもりはない |
| 5 時間に余裕があるから | |

問19 高齢者が就労する(続ける)ために特に必要なことは何ですか。(3 つまで○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 健康・体力 | 6 仕事に合わせる柔軟性 |
| 2 専門知識・技能 | 7 人脈・知り合い |
| 3 協調性・真摯な態度 | 8 定年前からの準備 |
| 4 意欲・情熱 | 9 その他(具体的に:) |
| 5 高齢者にあった職場・就労環境 | 10 わからない |

5 健康増進, 権利擁護の取組についておたずねします

問20 あなたは、健やかに暮らすために、次のことに取り組んでいますか。(それぞれ1つに○)

	今、取り組んでいる	今後は取り組む 取り組んでいないが、	取り組んでいないし、 今後もし取り組まない	わからない
ア 認知症予防	1	2	3	4
イ フレイル※予防	1	2	3	4

※ 加齢とともに心身の活力(運動機能や認知機能など)が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態。

問21 近年、人生のエンディングに向けて、元気なうちからさまざまな準備をする活動が広がっています。

①あなたは、次のような事柄をご存知でしたか。 ②今後、次のような事柄を活用したいと思いませんか。(それぞれ1つに○)

	①認知状況		②今後の意向			説明
	知っている	知らない	活用したい	活用しない	わからない	
回答例	①	2	①	2	3	
ア 終活(エンディング)ノート	1	2	1	2	3	銀行口座などの財産や介護や医療に関する希望、葬儀の内容など、自分の思いや希望を家族など親族に伝えるために書き記すノートのこと。
イ ACP(アドバンス・ケア・プランニング)	1	2	1	2	3	自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチームなどと繰り返し話し合い共有する取組のこと。

問22 認知症の人やその家族を支えるため、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。
(いくつでも○)

- 1 市民に認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供
- 2 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実
- 3 できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり
- 4 家族の身体的・精神的負担を減らす取組
- 5 家族の仕事と介護の両立支援を含めた、経済的負担を減らす取組
- 6 認知症の人を地域で見守る体制の充実
- 7 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実
- 8 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取組
- 9 認知症の人が利用できる介護施設の充実
- 10 認知症になっても地域で役割をもって暮らし続けられる体制の整備
- 11 認知症にも対応している保険の充実
- 12 その他(具体的に:)
- 13 特にない

問23 市や社会福祉協議会等で行っている下記の制度や事業をご存知ですか。(それぞれ1つに○)

	知っている	聞いたことはある (内容は知らない)	知らない	説明
ア 成年後見制度	1	2	3	認知症・知的障害・精神障害・発達障害などによって物事を判断する能力が十分ではない人について、本人の権利を守る援助者(成年後見人など)を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度。
イ 法定後見制度	1	2	3	本人の判断能力が不十分になった後、家庭裁判所によって成年後見人などが選ばれる制度。本人の判断能力の状態などに応じて「後見」「保佐」「補助」の3つの制度がある。
ウ 任意後見制度	1	2	3	本人に十分な判断能力があるうちに、将来、判断能力が低下した場合には、あらかじめ本人自らが選んだ人(任意後見人)に代わりにしてもらいたいことを契約(任意後見契約)で決めておく制度。

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65歳以上)】

	知っている	(聞いたことはある 内容は知らない)	知らない	説明
エ 市民後見人	1	2	3	社会貢献的な精神に基づき、成年後見人などとしての必要な知識と技量を身に付け、家庭裁判所が選任した一般市民の成年後見人などのこと。 親族でもなく、弁護士などの専門職でもない第三者の立場で、判断能力が十分でない人の金銭管理や福祉サービス利用契約などを本人に代わって行い、本人の暮らしを支援する。
オ 専門職紹介制度	1	2	3	第三者後見人による支援を必要としている市民に、多摩南部成年後見センターに登録している弁護士・司法書士・社会福祉士を紹介する制度。
カ 地域福祉権利擁護事業	1	2	3	高齢者や障害のある方に対して、福祉サービス利用の援助、郵便物の確認や書類手続き、預貯金の入出金や支払い手続き等を支援する。
キ あんしん未来支援事業	1	2	3	急な入院時等に頼れる親族がいない場合でも、安心して地域で暮らしていけるよう、事前に支援内容を契約し、必要な時に金銭の管理や保証機能を行うサービス。

問24 あなたやご家族のどなたかが認知症などによって判断が十分にできなくなる場合に備えて、あるいは既にできない場合、前問(問23)のいずれかの制度を利用したいと思いますか。(1つに○)

1 既に利用している	2 利用を検討する	3 利用しない	4 わからない
------------	-----------	---------	---------

付問 問24で「3 利用しない」、「4 わからない」と答えた方におたずねします。

制度を利用しない又はわからないと答えた主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- 1 制度の内容や利用方法がわからない
- 2 事務手続きが難しい
- 3 後見人などの第三者に財産管理や契約手続きを任せるのは不安
- 4 経済的な理由や身寄りががないために、申立てが難しい
- 5 家族などに支援してもらいたい
- 6 その他(具体的に:)

6 暮らしのことについておたずねします

問25 あなたは主にどのような目的で外出をしますか。(上位3つに○をつけてください。)

1 食料品や日用品等の買い物	7 仕事
2 散歩	8 地域活動・ボランティア
3 健康づくり(運動・スポーツ)	9 通院・リハビリ
4 趣味活動・習い事	10 通所介護サービスの利用
5 家族や友人・知人と会う	11 その他
6 介護や子供・孫の世話	(具体的に:)
	12 外出はしない

付問 前問(問25)で「1～9(様々な目的で外出をする)」のいずれかに答えた人におたずねします。

利用している移動手段は何ですか。(いくつでも○)

1 徒歩	7 バス
2 自転車	8 タクシー
3 自家用車等(自分で運転)	9 福祉タクシー
4 自家用車等(自分以外が運転)	10 電車
5 介護事業所等の送迎	11 その他
6 病院・リハビリ施設の送迎	(具体的に:)

問26 新型コロナウイルス感染症の流行後、現在のあなたの暮らしにどのような影響がありますか。

(それぞれ1つに○)

	増えた	変化なし	減った	事柄が該当しない わからない
ア 家族との会話や連絡の頻度(電話などを含む)	1	2	3	4
イ 友人・知人との会話や連絡の頻度(電話などを含む)	1	2	3	4
ウ 生活に必要な外出の頻度 (買い物・食事・医療機関の受診など)	1	2	3	4
エ 趣味活動や社会参加の外出の頻度 (スポーツ・ボランティア・通いの場など)	1	2	3	4
オ 体力・筋力	1	2	3	4
カ 認知機能の低下や物忘れを自覚する・指摘される頻度	1	2	3	4

問27 あなたは普段、どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(1つに○) 新規

- | | |
|--------------------------------|---------|
| 1 仕事や学校等で平日は毎日外出する | |
| 2 仕事や学校等で週に3～4日外出する | |
| 3 遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する | |
| 4 人づきあいのためにときどき外出する | |
| 5 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する | } →付問1へ |
| 6 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける | |
| 7 自室からは出るが、家からは出ない | |
| 8 自室からほとんど出ない | |

付問1 問27で「5～8」のいずれかに回答した方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つに○) 新規

- | | | |
|-------------|------------|---------------------|
| 1 3か月未満 | 3 6か月～1年未満 | } 「3」～「6」を選んだ方は付問2へ |
| 2 3か月～6か月未満 | 4 1年～5年未満 | |
| | 5 5年～10年未満 | |
| | 6 10年以上 | |

付問2 付問1で「3～6」のいずれかに回答した方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○) 新規

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 病気 | 6 受験に失敗したこと(高校・大学等) |
| 2 介護・看護を担うことになったこと | 7 就職活動がうまくいかなかったこと |
| 3 (就労中)自宅で仕事をしている | 8 人間関係がうまくいかなかったこと |
| 4 学校になじめなかったこと | 9 退職したこと |
| 5 職場になじめなかったこと | 10 その他(具体的に:) |
| | 11 特に理由はない |
| | 12 わからない |

問28 あなた以外で、市内にお住まいのご家族(同居・別居問わず)に下記の外出状況が当てはまる人はいますか。(1つに○) **新規**

1 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	} →付問1へ
2 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	
3 自室からは出るが、家からは出ない	
4 自室からほとんど出ない	
5 いずれもない	
6 外出状況がわからない	

付問1 問28で「1～4」のいずれかに回答した方にうかがいます。

ご家族の外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つに○) **新規**

1 3か月未満	3 6か月～1年未満	} 「3」～「8」を選んだ方は付問2へ
2 3か月～6か月未満	4 1年～5年未満	
	5 5年～10年未満	
	6 10年以上	

付問2 付問1で「3～6」のいずれかに回答した方にうかがいます。

ご家族の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○) **新規**

1 病気	6 受験に失敗したこと(高校・大学等)
2 介護・看護を担うことになったこと	7 就職活動がうまくいかなかったこと
3 (就労中)自宅で仕事をしている	8 人間関係がうまくいかなかったこと
4 学校になじめなかったこと	9 退職したこと
5 職場になじめなかったこと	10 その他(具体的に:)
	11 特に理由はない
	12 わからない



コラム ■ 調布市におけるひきこもりの相談窓口について掲載予定

問29 日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

1 同居の家族	11 調布ライフサポート※ ² (社会福祉協議会)
2 別居の家族や親戚	12 子ども・若者総合支援事業ここあ(社会福祉協議会)
3 自治会や近所の人	13 こころの健康支援センター(社会福祉協議会)
4 友人・知人	14 社会福祉協議会(その他の相談窓口)
5 仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)	15 地域包括支援センター
6 民生委員・児童委員	16 ちょうふ若者サポートステーション※ ³
7 ケアマネジャー(介護支援専門員)・ヘルパー(介護員)などの事業者	17 子ども家庭支援センターすこやか
8 かかりつけ医や保健師などの医療関係者	18 その他
9 市役所	(具体的に:)
10 地域福祉コーディネーター※ ¹ (社会福祉協議会)	19 身近に相談できる人や機関はない

※1 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー=CSW)は、生活上の悩みや困りごとを抱える人に対し、さまざまな機関・団体と連携しながら課題の解決を図るとともに、住民主体の活動の促進や地域でのネットワーク構築といった取組を進める役割を担う。

※2 調布ライフサポートは、経済的な理由などで困っている人に対するトータルな相談窓口。

※3 ちょうふ若者サポートステーションは、15～49歳対象の職業的自立のための総合相談窓口。

問30 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○)

1 自分・配偶者の健康・病気	7 子ども・孫の健康・病気・介助・将来
2 自分・配偶者の運動機能・体力の変化	8 住まい
3 自分・配偶者の認知機能の変化	9 お金(財産管理・相続含む)
4 自分・配偶者の介護	10 仕事
5 親の健康・病気・介護	11 人間関係、人との付き合い方
6 兄弟姉妹の健康・病気・介護	12 その他
	(具体的に:)
	<u>13 どこに相談すればいいかわからない困りごとはない</u>

問31 自宅以外に一人で、あるいは友人・知人と過ごす場所がありますか。(1つに○)

1 ある	2 ない
------	------

問32 自宅以外に一人で、あるいは友人・知人と過ごす場合、どのような場所を望みますか。(いくつでも○)

1 友人・知人宅	7 商業施設(飲食店除く)
----------	---------------

2 文化施設(図書館・資料館など)	8 公園・自然
3 集会施設(公民館・自治会館・交流スペースなど)	9 インターネット・SNS
4 福祉施設	10 その他
5 運動施設	(具体的に:)
6 飲食店	11 必要ない

7 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問33 お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

	とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない
ア 隣近所などとの付き合い	1	2	3	4	5
イ 町内会・地区協議会の活動	1	2	3	4	5
ウ 地域の交流	1	2	3	4	5
エ サークルやボランティアの活動	1	2	3	4	5
オ 地域の防災・防犯対策	1	2	3	4	5
カ 相談できる体制	1	2	3	4	5
キ 買い物などの便利さ	1	2	3	4	5
ク 道路や交通機関などの使いやすさ	1	2	3	4	5
ケ 公的な手続きの便利さ	1	2	3	4	5
コ <u>医療機関への通いやすさ</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>5</u>
サ <u>地域での就労の機会</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>5</u>

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65 歳以上)】

問34 高齢者の生活を守る取組や相談窓口などがあります。下記のことをご存知ですか。

(それぞれ1つに○)

	知っている	知らない	説明
ア 見守りネットワーク(みまもっと)	1	2	地域住民・協力団体などが、地域の高齢者などの異変や生活上の支障などに気付いたら、その情報を地域包括支援センターに連絡する活動。
イ 高齢者虐待防止法	1	2	高齢者を虐待から守ることを目的として平成18年4月に施行されている。高齢者虐待とは、身体的暴行のほか、心理的外傷を与える言動、世話の放棄、財産の不当な処理なども含む。
ウ 調布市消費生活相談室	1	2	買物相談をはじめ、悪質商法の被害など、市民の消費生活に関するさまざまなトラブルや相談に対応している。
エ 地域包括支援センター	1	2	高齢者やその家族が地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関するさまざまな相談ができる総合相談窓口。
オ 「くらしの案内～シルバー編～」	1	2	高齢者向けに行っている各種事業を市民にお知らせするために、毎年、発行している冊子。
カ 調布ライフサポート	1	2	経済的な理由などで生活にお困りの人に対するトータルな相談窓口。
キ 住まいぬくもり相談室	1	2	適切な民間賃貸住宅の情報の提供や福祉サービス、行政支援などを紹介している。
ク <u>シルバー人材センター</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>60歳以上の会員に対する雇用によらない臨時的・短期的な就業や、軽易な業務に係る就業の機会を提供している公益社団法人</u>

問35 市内のバリアフリー・ユニバーサルデザインについて、どのように感じていますか。

(それぞれ1つに○)

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない
ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす, 幅を広げるなど)	1	2	3	4	5
イ 公共施設や病院などのスロープ, エレベーターやエスカレーター	1	2	3	4	5
ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人など, 誰もが使いやすいトイレ	1	2	3	4	5
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板, 放置自転車, 電柱など)が取り除かれ, 段差や凹凸が少なく, 十分に幅のある歩道や道路	1	2	3	4	5
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1	2	3	4	5
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすいノンステップバスやリフト付バス, ユニバーサルデザインタクシー	1	2	3	4	5
キ 障害者用の駐車場	1	2	3	4	5
ク 大きな文字・絵・複数の言語を用いた, 誰もがわかりやすい案内標示	1	2	3	4	5
ケ 手話の対応や音声ガイドがある施設	1	2	3	4	5
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1	2	3	4	5
サ 公園・道路などを含む, まち全体のユニバーサルデザイン※	1	2	3	4	5
シ 高齢者, 子ども連れの家族, 障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮	1	2	3	4	5

※ ユニバーサルデザインとは, 障害の有無・年齢・性別・人種などに関わらず, 多様な人が利用しやすいよう, 事前に環境などをデザインすること。

問36 共生社会の充実のための法律や考え方、調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。（それぞれ1つに○） **新規**

	内容を知っている	(内容は知らない)聞いたらことはある	知らない	説明
ア 障害者差別解消法	1	2	3	障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律(平成 28 年 4 月 1 日施行)
イ 合理的配慮	1	2	3	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア(生活がしづらくなる社会的障壁)を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること。
ウ パラハートちょうふ	1	2	3	「様々な障害に対する理解を深め、一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる社会に」という想いを込めて作成した調布市のキャッチフレーズ
エ 調布市手話言語条例	1	2	3	独自の言語である手話に対する理解促進と普及を推進するための条例
オ 調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例	1	2	3	障害の特性に応じた多様な意思疎通(コミュニケーション)のための手段、配慮、支援等に対する理解促進と普及を推進するための条例

「調布市手話言語条例」

「調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例」についてはこちら⇒



「パラハートちょうふ」についてはこちら⇒



問37 調布市の高齢者保健福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(5 つまで○)

- 1 趣味や生きがいづくり・社会参加への支援
- 2 働く機会や場所づくり
- 3 介護が必要にならないための健康づくりなどの支援
- 4 自立生活のための家事(炊事・洗濯・掃除など)についての指導
- 5 介護保険サービスの充実(ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイなど)
- 6 介護保険以外の保健福祉サービスの充実(配食サービス・紙おむつの給付など)
- 7 ボランティアや地域活動の充実
- 8 ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合うまちづくりへの支援
- 9 低所得者などへの経済的支援
- 10 既存住宅の改修支援
- 11 安価な賃貸住宅の供給
- 12 段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関の整備
- 13 特別養護老人ホームなどの入所施設の整備
- 14 利用しやすい成年後見制度

15 介護者に対する支援

16 その他(具体的に:

)

17 わからない

問38 介護者支援策として、あなたが必要だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)

1 介護者に対する定期的な情報提供

2 介護者が気軽に休息がとれる機会づくり

3 電話や訪問による相談サービス

4 本人や介護者が集まって話せる場づくり

5 仕事と介護の両立支援

6 介護者の経験をいかした発言の場づくり

7 その他(具体的に:

)

8 特にない

問39 市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるためには、以下の①～③の取組が重要です。これらの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。(自由記述)

取組番号

- ①地域活動の活性化・市民同士の支え合いの仕組みづくり
- ②相談・サービスの充実
- ③安全・安心の確保等

取組番号： ① ・ ② ・ ③ (いずれかに○。複数選択可)
ご意見・ご提案
3つの取組以外で気になっていること

アンケートは以上です。たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。
 調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和8年4月頃の予定)。